



千石会の皆さん

平成31年1月吉日 長谷川昭次郎

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはご健勝でお過ごしのこととお察しして、お喜びを申し上げます。

私は1月10日に満92歳を迎えました。今のところはお蔭様で高齢者らしく医者通いをしておりますが、何とか元気で老夫婦互助しながら、また吹矢を楽しみながら過ごしております。

そこで最近思うのですが、元気であるためには老いを忘れ子供の頃に戻った気持ちで、屈託なく思いつくままに気楽に過ごすことだと思うのです。

年の初めに子供の頃の元気な姿を思い起こしてみませんか

年を取ると体力や知力が年々衰えて、子供の様になるとまで言われています。悲しいことですがこれが人間の宿命なのでしょう。そうであるならば子供の頃の無邪気で腕白であった頃を思い起こし、しょげることなく子供の頃の気力を持ち続け、失敗など気にせず、なにごとにも挑戦して楽しむことだと思うのです。

そこで、子供の頃を思い起こして歌にしてみました、共感くだされば幸甚です。

○子供の頃が懐かしい

- | | |
|--|--|
| 1 正月遊びは カルタ取り
可愛い盛りの わたくしに
読み手の父の 流し目で
勝っては皆に 恨まれた
そのまなざしが 目に浮かぶ | 2 凧たこ揚がれ 天までも
凧糸切れて 飛んじやった
悲しくなって 泣けてくる
代わりを姉が 買いに行く
優しい姉が 好きだった |
| 3 羽根突き遊び 楽しいが
わたしは何時も 羽拾い
仲間に入れず 腹が立ち
羽をむしって 叱られる
怒った姉は 鬼のよう | 4 正月嬉しい 無礼講
あれこれ食べて 腹いっぱい
遊びほうけて 体をこわし
父の酔い寝に 添い寝する
寝正月とは 情けない |





- 5 一月一日 大祝日
生徒呼ばれて 講堂で
話しかされ 歌わされ
やっと終わって 帰る時
紅白饅頭で バンザーイ！
- 6 正月には 女の子
上品ぶって 着飾って
大きな羽子板 大事そう
いたずら心 湧きあがり
墨筆もって 追い回す
- 7 垣を超えた 柿の実を
棒でもぎ取り 悪童が
寄ってたかって 食ってみる
渋いのなんの たまらない
悪さをすれば 罰あたる
- 8 夕焼け空を 眺めつつ
大きな肩の 父さんに
おんぶをされて 温かい
下手な演歌 おかしくて
恥ずかしくなり 目を伏せる
- 9 遊びが過ぎて 遅くなり
家締め出され 軒の下
悲しいやら 寒いやら
婆ちゃん内緒で 家の中
婆ちゃん子で 助かった
- 10 廊下に立たされ 恥ずかしい
姉も怒って 通り行く
母にも叱られ 情けない
姉のおしゃべり 恨めしい
それ以外は いい姉が

○大きくなっても懐かしい

- 1 夏の暑さに 野池で泳ぐ
人に見つかり どなられて
大あわてで 逃げて行く
忘れ物に 気が付いて
叱られながら 取り戻す
- 2 追羽根突きに 姉夢中
人に当たって 注意され
草履が脱げて 足袋汚す
母に叱られ ベソをかく
そんな様子に 影笑い
- 3 職場旅行が 大好きで
列車動けば ハイ乾杯
車窓の風景 チラ見だけ
野天風呂では 大はしゃぎ
そんな旅行が またしたい
- 4 兄に貰った 登山靴
六甲山から 鈴鹿まで
スキー道具も 肩にして
比叡山から マキノまで
下手な物好き 懐かしい

